



ほけんだより 7月号



令和7年7月1日
認定こども園あゆのさと
看護師 雨宮・石黒

本格的な夏がそこまで来ています。子どもは外気温の影響を受けやすく、体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は体調を崩しやすく注意が必要です。たくさん食べて、しっかり休息をとり、体調の変化に気をつけながら、元気に夏を楽しみましょう。



夏に多い感染症

夏に多くみられる感染症は、他人への感染力も強く、学校保健法で出席停止の位置づけとなっている病気もあります。受診をして医師の診断を受けましょう。感染症と診断された場合は園に連絡してください。夏によくみられる感染症を紹介します。

プール熱（咽頭結膜炎）

高熱が3～5日くらい続き、のどの痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。登園停止の病気です。

流行性角結膜炎（はやり目）

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙がでます。他の人にうつってしまうことが多いです。登園停止の病気です。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。

手足口病

手のひら、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。

とびひ（伝染性膿痂疹）

強いかゆみが特徴です。すり傷や虫刺され、あせも、湿疹などの傷口に細菌が入り、水ぶくれができます。かきむしることで、水疱が破れ、周りにも広がっていきます。

夏の肌トラブル（蚊に刺されたとき）

大人は蚊に刺されるとすぐに腫れ、じきに治まります。ところが、小さな子どもは、刺されてしばらくたってからびっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることがあります。かき壊さないよう、早めに手当てをしましょう。



お知らせ

フッ素塗布を実施します。希望される方は、当日までに水色のカードを職員に手渡してください。カードがないとフッ素塗布はできません。

フッ素塗布は3ヵ月ごとに実施できます。前回のフッ素塗布から3ヵ月以上経過しているかを確認してください。

時期：7月16日（水）

対象：1歳6か月検診後から3歳（年少）までの園児

持ち物：フェイスタオル（またはハンドタオル）

5・6月の尿検査は
全員異常なし
でした。
ご協力ありがとうございました。

